

© The Tiffen Company, 2000

PROBAX COLOR CONTROL

MOHAWK  
LICENSED PRODUCT

3/Color  
White  
Black

White

Magenta

Red

Yellow

Green

Cyan

Blue



錦の里初編上

3012  
1



へ13  
3012  
3012 1-15  
特

遊仙奇遇錦之里

ゆうせん きんぐり ありきのきこ



張文成が故事は暖り 仮寐乃多物語

ちかうぶんせい の あむこと くら かりね しばしばのものがたり

揚貴妃櫻の精は遠くへさるも古風多備

やうきひ けいさく の せい ちのまへ とも こと ころも ふるふう たらひ

案の似るまじく新暮有那る事を持し

あな の におも なる まじく たらむ あり なる こと たり 持ちし

自然ふ少む時のまじく事をも心持し

しぜん ふ せうむ とき の まじく こと も こころ 持ちし

一袋の筆おもしろく入るは自然

いちふくろ の 筆 おもしろく いる は しぜん

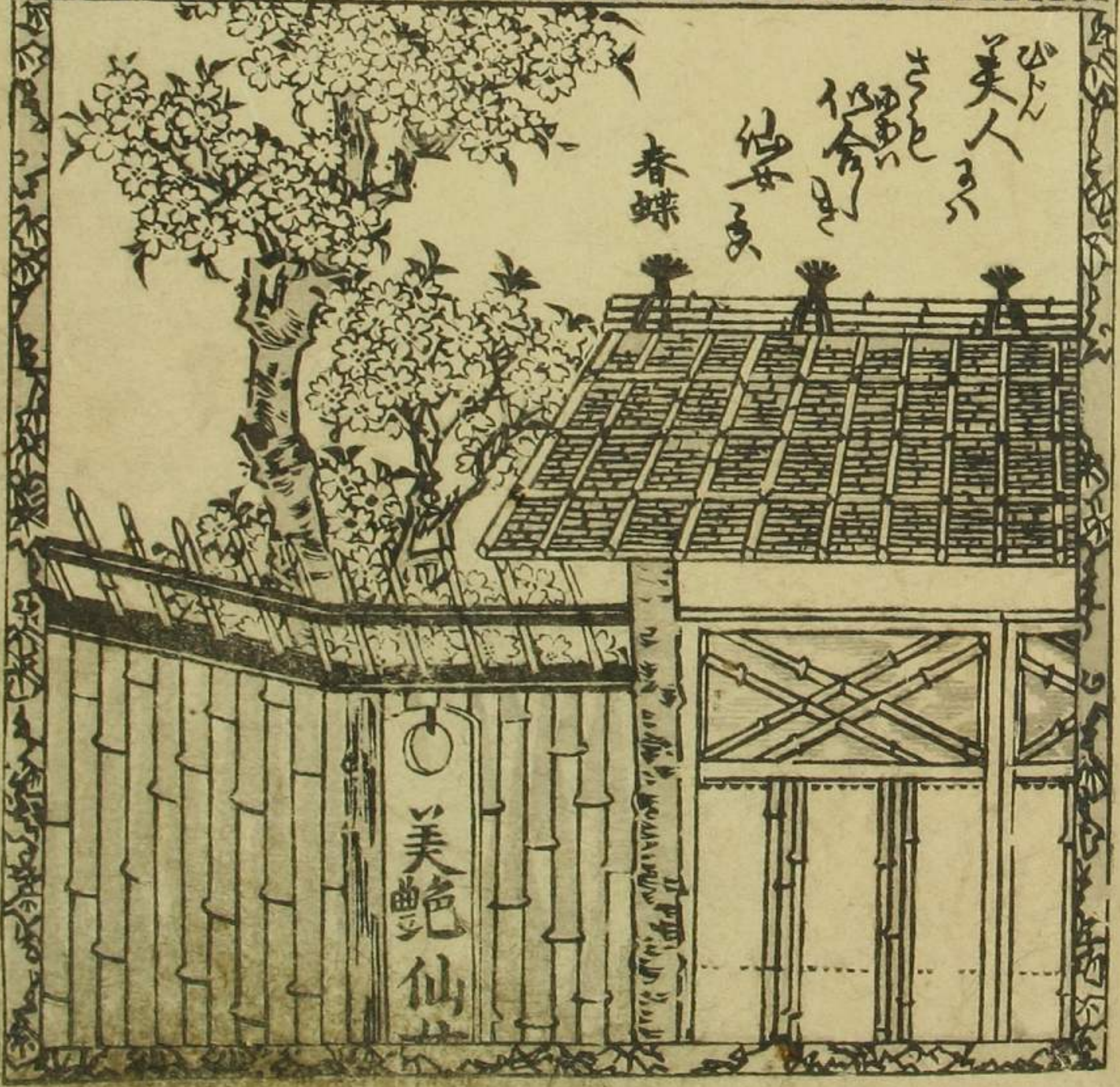
昭和九年  
七月九日  
購末

情までり一家かのらとり調ていとりちちはは事ことししずずももちちけ  
ままばばすすままららととななくく一いくく千せんままてて目め次じのの讀よみ  
後ご取と視し音おんももほほららばばとともも抄せう編へんのの前まへ  
後ごららももとと此このの端はたららあありりももすすららううとと後ごをを平へい  
のの一い癖くせををややりりとと此このの須す者もの官くわんのの求もとむむ事ことらら  
ままししくく程ほど別べつのの儀ぎ儀ぎ文ぶん向むかひひのの讀よみとと下したのの條じょうが

不ふ教ぎょう合がめめああるる一い生せい時じのの忽とつ地ちのの又またとと書かききとと  
退たい出しゅししとと書かききとと化けのの物もの也なり亦また切き替かへへ下した  
のの卷まき二に編へんののももとと先まづづ小せう綴ずいとと合がめめををややりりとと  
無む理り子しねねとと先まづづ卷ま末まつとと書かききとと珠たまとと書かききとと  
種たねとといいかかつつとと付つくく草くさ葉はななれればば筋すぢのの  
糸いとのの異い物ぶつ織おりははぎぎのの糸いとのの裏うらとと書かききとと



飛鳥山乃遠景



美人  
仙  
春蝶

美艶仙

一  
 例乃貞の思如達も蜀江の錦の  
 里と視るん事心頼ふに  
 美 例乃貞の思如達も蜀江の錦の  
 里と視るん事心頼ふに

金龜山人蓮池菴

為永春水誌





徳余米町  
深井乃  
里の  
隠居  
清雅

おのころね  
おのころね  
おのころね  
おのころね  
おのころね



瀧の川村  
源宗寺の境内  
楊貴妃櫻の精霊

木精の  
お花

文亭主人

女の童

櫻も初花より人の望も久しく愛きその心も昔々今昔を  
ありて愛かと思ふ所らぬお花は花持ぬ木の梢く  
もろく遠山ささるる葉もさかしく色れおそきつら  
るる葉の影風情をのく一様あるも様も百葉り  
秀く古今流人の風雅は井もさかしく

錦の里より重文とぞいふ海に柳をさかしく  
ふ〜のあけのめあけし  
かよひのあけのめあけし

清元 延徳賀

遊仙 奇遇

錦の里巻之一

江戸 鳥永春水作

第一回

今もむしせぬ猶も一人の英男あり兼二十才の上級  
日づつふ二ツとツツ裁くつらつらあつらや富田の家の  
お花も花持にゆづりよふそその深井さうりふ里に隠居  
て雨に月を友とす其の月も常所とてさかしく  
ほふ玉子控の社路のたのめ静あつら成るる花も













2  
 3  
 4  
 5  
 6  
 7  
 8  
 9  
 10  
 11  
 12  
 13  
 14  
 15  
 16  
 17  
 18  
 19  
 20  
 21  
 22  
 23  
 24  
 25  
 26  
 27  
 28  
 29  
 30  
 31  
 32  
 33  
 34  
 35  
 36  
 37  
 38  
 39  
 40  
 41  
 42  
 43  
 44  
 45  
 46  
 47  
 48  
 49  
 50  
 51  
 52  
 53  
 54  
 55  
 56  
 57  
 58  
 59  
 60  
 61  
 62  
 63  
 64  
 65  
 66  
 67  
 68  
 69  
 70  
 71  
 72  
 73  
 74  
 75  
 76  
 77  
 78  
 79  
 80  
 81  
 82  
 83  
 84  
 85  
 86  
 87  
 88  
 89  
 90  
 91  
 92  
 93  
 94  
 95  
 96  
 97  
 98  
 99  
 100

101  
 102  
 103  
 104  
 105  
 106  
 107  
 108  
 109  
 110  
 111  
 112  
 113  
 114  
 115  
 116  
 117  
 118  
 119  
 120

1  
 2  
 3  
 4  
 5  
 6  
 7  
 8  
 9  
 10  
 11  
 12  
 13  
 14  
 15  
 16  
 17  
 18  
 19  
 20  
 21  
 22  
 23  
 24  
 25  
 26  
 27  
 28  
 29  
 30  
 31  
 32  
 33  
 34  
 35  
 36  
 37  
 38  
 39  
 40  
 41  
 42  
 43  
 44  
 45  
 46  
 47  
 48  
 49  
 50  
 51  
 52  
 53  
 54  
 55  
 56  
 57  
 58  
 59  
 60  
 61  
 62  
 63  
 64  
 65  
 66  
 67  
 68  
 69  
 70  
 71  
 72  
 73  
 74  
 75  
 76  
 77  
 78  
 79  
 80  
 81  
 82  
 83  
 84  
 85  
 86  
 87  
 88  
 89  
 90  
 91  
 92  
 93  
 94  
 95  
 96  
 97  
 98  
 99  
 100

高くも風情の入りはまが息子の元来あがぬ公苑の  
たかくも ふうじやうの 入りは まが 息子の 元来 あがぬ 公苑の  
 下那月の魚苑のまさと好ましくはあまのまの  
したなづきの 魚苑の まさと 好ましく はあまの まの  
 あがくやぐくもあまのまのまのまのまのまのまの  
あがく やぐく もあまの まの まの まの まの まの  
 よりそよまのゆりをゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり  
より そよまの ゆりを ゆりゆり ゆりゆり ゆりゆり ゆりゆり  
 奈のつらかぎつひのつらまのつらまのつらまのつらまの  
な の つらかぎつひ の つらまの つらまの つらまの つらまの  
 まぐその物好むはくくくくくくくくくくくくくくくく  
まぐ その 物好む はくくくくくくくくくくくくくくくく  
 途中あまのむまのむまのむまのむまのむまのむまのむまの  
ちゆうちゆう あまの むまの むまの むまの むまの むまの むまの むまの

りあつこもまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
りあつこ もまの まの まの まの まの まの まの まの まの  
 秋のつらまのつらまのつらまのつらまのつらまのつらまの  
あき の つらまの つらまの つらまの つらまの つらまの つらまの  
 花のたぐもまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
はな の たぐも まの まの まの まの まの まの まの まの まの  
 りと古一をまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
りと 古一 をまの まの まの まの まの まの まの まの まの  
 池川の考が借不十倍の勢も今宵の珠み洗むの  
いけがわの 考が 借不 十倍の 勢も 今宵の 珠み 洗むの  
 まぐ乾くつらまのつらまのつらまのつらまのつらまのつらまの  
まぐ 乾く つらまの つらまの つらまの つらまの つらまの つらまの  
 の柳の月陰の光り公苑のつらまのつらまのつらまのつらまの  
の 柳の 月陰の 光り 公苑の つらまの つらまの つらまの つらまの







やまぢうと豊とひまがむらひきくまのお宅を大  
遠流のて稽古所反一昔一この親のおめをさう  
まのいひまがうおまのまうおま一ま一えんざらりお  
うけの目とく海でよのこま夜う舞のゆき物  
もかん一年あまりの山がひで喜ぶおうまはれは迷ひまが  
あつまうと命をわのお抱屋一まのい知不強五を返  
まのまあおんおまうい他小程務もまのませま

物ふまうひま一このまおまおくのまをまのませま  
は新お先願さるのおお屋一まを春樂院まのま  
おまのまのまおま一このまおまおまのま  
て月くおおおお十かひのままおまおまおまおま  
まのまのまおまおまおまのまおまおまのまおま  
一人おおおまおま一と樂まかひのまおまおま一  
おまおまおまおまおまおまおまおまおまおま



















